



学校教育目標：笑顔いっぱい 楽しく学ぶ 鍋島っ子の育成

なべしまっ子

学校便り 11号

令和8年3月3日

児童数 721名

文責 井原 竹始

いよいよ3月、学年のまとめ、新年度の準備を！

2月は、「逃げる」とよく言われるように、あっという間に過ぎ去ってしまいました。今年は雨が非常に少なく、水不足が心配されています。2月24日～25日に久しぶりにまとまった雨が降り、27日、3月2日と雨になりましたが、まだまだダムの貯水率は回復していません。気分的に雨は嫌ですが、もう少し雨が降ってくれないと、今後が心配ですね。

学校では、2月25日（水）に、6年生を送る会が行われ、1～5年生は、6年生への感謝の気持ちを様々な出し物で伝えてくれました。その思いはしっかり6年生へ伝わったと思います。出し物の中で、それぞれの学年としてのまとめも見られ、成長を感じることができました。6年生にとって、小学校生活の素敵な思い出の一つになったと思います。

3月を迎え、今年度は残りわずかとなりました。限られた時間の中で、気を緩めることなく、今できること、やるべきことにしっかり取り組み、卒業式、修了式を迎えたいと思います。今の学年で、多くのことを身に付け、子供たち一人一人が「成長できた」という実感をもって、新年度を迎えてほしいと思います。

ご家庭でも、子供たちの成長を認めてもらうと同時に、新年度への期待感がもてる言葉掛けをお願いします。

命について学びました

2月9日（月）に、5年生は、助産師である宮永奈々美さんを講師に招き、「命の授業」をしていただきました。子供たちは、自分の誕生を想像しながら、命の大切さや家族の愛情について真剣に考えていました。子供たちの感想を紹介します。

- 私たちが産まれてくるのが当たり前じゃなく「奇跡」と知ったとき、もっと命を大切にしようと思いました。赤ちゃんを産むときの動画を見たとき、赤ちゃんを産むって大変なのに産んでくれてありがとうと思い、感謝で涙が出ちゃいました。
- 今までよく分からなかった産まれる前や産まれたすぐのことがよく分かった。また命の尊さについてもよく分かった。これからは友達や家族、自分の命を大切にしようと思った。
- 今の私たちは、周りの人たちに支えられ、そして愛情をもらっていることで在るのだと思いました。これからも「感謝」を忘れないようにしていきたいです。
- 自分の命の誕生について初めて分かりました。お母さんが産んでくれた命を大切にしようと思いました。
- 今ここで授業を受けたり、ご飯を食べたり、家があったりすることは当たり前だと思っていたけど、当たり前ではないことや、今生きていることは奇跡で、いろいろな人の助けがあって、ここまで育ってきたことが分かりました。命は、いじめをしたり、されたりするためにあるのではなく、生きるためにあることも分かりました。命が誕生するときは、米一粒よりも小さいことが分かり驚きました。赤ちゃんは、コミュニケーションをとってあげることが大切だと分かりました。



- 赤ちゃんのことにについて聞いて、見えるか見えないか分からないくらいの大きさから、今の大ききまで育って、ここまでこられたことが奇跡なので、それを壊すことは絶対にしたくないと思いました。
- 今日の授業で、「自分らしく生きるために産まれてきた」という言葉が一番心に残っています。今自分がここにいる奇跡にも感謝したいと思いました。産まれてくるときやお腹にいるときは、自分で工夫していたと知って、自分をほめてあげたくなりました。～その緒がすごく長いのは、産まれてきたときに抱きしめてあげられるようにするためと言うことを知り、人間ってすごいなと思いました。今日の授業を受けて、命について今までよりもっと深く考えることができたので、一人の人間として、これからも力強く生きていきたいと思いました。
- 赤ちゃんは子宮という命の部屋から産まれることが分かりました。私は帝王切開で産まれたけど、その産まれ方は、お母さんも赤ちゃんも元気に過ごせるための幸せな産まれ方をしたことが分かりました。私が将来赤ちゃんを産んだら、このことを思い出したいです。命はとても大切だから、どんなことがあっても命を守りたいと思います。
- 最初にお米一粒を渡されて、これより産まれる前の赤ちゃんのほうが小さいということが分かって驚きました。お腹の中にいるときは、お母さんから栄養をもらったり、産まれてから困らないように指をかんだりしているのも分かりました。産まれるとき、赤ちゃんは、時間をかけながら賢い方法で産まれてきて、産まれてからすぐ、周りの人に支えられていることを知りました。これからも頑張って生きていき、人を支えることができる人になりたいと思います。
- 命は奇跡の連続で、自分がとても誇らしく思いました。命はとても大切なもので、いろいろな人が頑張った代物だということが分かりました。もっと命を大切にしていきたいです。
- 命は、自分らしく生きるための命だと思いました。お母さんが、ぼくをこんなに大切に産んでくれたので、自分らしく生きようと思いました。お母さん、こんなに大切に産んでくれてありがとう。命を一番大切に守っていききたいと思います。

バトンタッチ集会

2月12日(木)に、これまで委員会活動等を通して鍋島小学校を引っ張ってくれていた6年生から、5年生へバトンを渡す集会が行われました。6年生の委員長が5年生へ期待を込めたメッセージを述べ、5年生の新委員長にたすきを掛け、5年生へバトンを渡しました。新委員長は6年生のメッセージに、「これから私たちが鍋島小学校をリードしていくのだ」という自覚をもって、力強く答えていました。5年生の引き締まった表情は、これからの活躍を期待させてくれるものでした。

5年生は早速、各委員会の仕事を頑張っています。スタートダッシュは切れています。これから自分たちでさらに良い活動を考え、やりがいを持ち、楽しく活動してくれると嬉しいです。

欠席、遅刻の連絡は8時15分までにお願いします

子供たちが、始業時に登校していないと大変心配です。事故や事件に巻き込まれていないか、具合が悪くなって途中で止まっていないか……。また、担任が連絡をとり、確認をする時間も必要になります。朝の忙しい時間だとは思いますが、欠席や遅刻の場合は、れんらくんまたは電話で、8時15分までに確実に連絡をお願いします。

